



## 子どもの可能性は無限大

# 10月

児童支援専任 小野 智子

残暑がなかなか過ぎ去りませんが、風や空に浮かぶ雲、そして夕方から聞こえる虫の声は秋の訪れを感じさせます。

8月30日、金沢区役所で「横浜こども会議」の区交流会が開催されました。「横浜子ども会議」は、児童生徒が主体となって、「だれもが安心して生活できるよう、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会」をめざして具体的な取組を進めます。区交流会では、小学生から高校生までの児童生徒が集まり、いじめ防止の取組について共有します。本校からは児童運営委員長が学校代表として参加し、金沢小の取り組み「スマイルプロジェクト」について発表しました。

子ども主体の会議ですので、進行・質疑応答も全て子ども自らが進めます。中学生が中心となり小学生をサポートしながら会が進んでいきました。そして全体をまとめる高校生。交流会では他校の取組について関心をもち、質問が飛び交います。よりよい学校生活を送るためにできることについて、子どもならではのアイデアや試行錯誤が沢山見られた時間でした。

先日、ある園を訪問しました。年少児～年長児が、自分の好きなことを選び、あさの1時間たっぷり遊んでいました。この遊びの中にも試行錯誤が見られます。ブロックで作った電車が壊れないようにテープで止めている子がいました。しばらく見ていると、ブレーキにする部分は動かしたいからテープをはがし、他を補強するなど遊びを試行錯誤しながら進化させていました。

金沢小学校の校庭に目を向けると、休み時間ドッジボールを楽しむ子どもたち。これまで低学年・高学年に分かれていた外遊びも9月からは解除し、いつでも外遊びを楽しむことができるようになりました。ドッジボールのコートも全校一緒になることで困るかなと思っていましたが、譲り合ったり、学年を超えてチームを作ったり、子どもなりの解決方法を見出しています。

幼児期からの遊びに始まり、試行錯誤をしながら、やがて課題に向かおうとする力につながるのだと改めて感じました。子どもの可能性は無限大。時には後ろから見守り、困った時には寄り添うことをこれからも大切にしていきたいです。